

岐阜県防災会議 議事要旨

1 日時 令和4年3月25日（金）14：00～14：30

2 場所 ウェブ会議

3 出席者 別紙のとおり

4 会議次第

(1) 開会

(2) 議題

- ・岐阜県地域防災計画の修正について

(3) 報告事項

- ・岐阜県強靱化アクションプラン2022について

5 議事要旨

【4（2）議題 岐阜県地域防災計画の修正について】

<青山委員（岐阜県市長会長）>

- ・昨年8月の大雨では、中津川市においても、土砂流入や路肩崩壊によって国道19号が10日間全面通行止めとなるなど、662箇所で被災した。そんな中でも、早めの住民避難によって人的被害が発生することなく対応できた。
- ・また、私ども、災害現場に足を運んだが、耕作放棄地や手入れの行き届かない森林に手を入れていくことがポイントと考える。
- ・こうしたポイント（避難やSDGs）を踏まえた今回の改正内容について評価したい。

<杉戸委員（岐阜大学特任教授）>

- ・修復工事においては、個々の災害への対応力だけでなく、複合災害への対応、最初の災害により受けた傷を背負いながら次のレベルの大きい災害へ対応することを意識して計画をまとめるとよいのではないかと。

<井口委員（名古屋大学名誉教授）>

- ・県では、AIを含むデジタル技術を活用した対策をどのように実施しているのか。

<県防災課長>

- ・LINEを活用し、登録者の住所地、勤務地等に応じた避難情報の発信や、SNSに投稿された被害情報をAIが自動収集・集約するシステムの導入などを進めている。

<岡本委員（岐阜県身体障害者福祉協会長）>

- ・避難行動要支援者名簿に登録されている人はあまり多くなく、制度自体を知らない方もおられると聞いていることから、私どもも当事者団体として機会のあるごとに伝えていきたい。

<伊在井委員（岐阜県医師会常務理事）>

- ・身体障害児だけではなく身体障害者も含めて、在宅医療を受けておられる方々の名簿作成や、例えば中心静脈栄養と言って常に電源が必要な方、在宅酸素療法を行っている方、人工呼吸器の方などその方々の状態に合わせた計画についてもお願いしたい。それが、避難先の環境確保の参考になるのではないか。
- ・警察、消防、県、医師会をつなげて情報交換できるような仕組みの検討をお願いしたい。

<青山委員（岐阜県市長会長）>

- ・3月16日に発生した福島県沖地震について、相馬市長から、電源の確保に苦慮し、電源車を電力会社から病院に2台借りたと聞いた。万一の場合、電力会社の電源車をお借りすることができるのか。

<中部電力パワーグリッド（株）岐阜支社（代理）>

- ・電源車は岐阜支社で確保しているほか、他の支社と連携し、中部電力管内で必要なところにお送りすることとしており、皆様方と連携し、速やかに対応していきたい。

結果、資料1-1～1-4のとおり地域防災計画を修正することを決定